

授業科目

視覚機能連携医療

担当教員名 石井 雅子、張替 涼子、青木 学、小西 明、松永 秀夫	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

医療の高度化に伴い、眼科医療現場でも多職種間の連携・協働が重要であることを学び、様々な連携の在り方について専門性をふまえながら、その役割と必要性、連携の実際を理解する。

授業の目的

社会資源の活用、院内および院外の社会資源の情報を収集することの重要性を理解し、連携事例から視能訓練士の役割を習得する。

学習目標

1. 院内で視能訓練士が求められる連携を理解できる。
2. 視覚障害に関するリハビリテーションネットワークを理解できる。
3. 教育・行政との関わりの重要性を理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	視覚障害リハビリテーションに関わる社会資源	講義	張替 涼子
2	眼科医療機関における連携の重要性（スマートサイト、中間型アウトリーチ支援ほか）	講義	張替 涼子
3	連携の事例紹介とグループワーク	講義と演習	石井 雅子
4	教育(特別支援学校)の立場から	講義	小西 明
5	福祉の立場から	講義	松永 秀夫、石井 雅子
6	高齢者施設、保育・幼児教育現場との連携	講義	石井 雅子
7	行政の立場から	講義	青木 学、石井 雅子
8	まとめ	講義	石井 雅子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	プリントを配布する。					

評価方法

定期試験：70%
受講態度：20%
提出物：10%

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。
締切を過ぎたレポートは原則として受け取らない。
再試験・追試験は必要があれば1回のみ実施する。

オフィスアワー・連絡先

毎週火曜日の昼休み
メール：ishii@nuhw.ac.jp
研究室：P309